

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	1 学年 必修	教科	数学	科目	数学 I	単位 数	3
教科書	改訂版 高等学校 数学 I (数研出版)			使用教材	はぎとり式練習ドリル数学 I サクシード数学 I +A (数研出版)		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> ・整式を文字に着目して降べきの順に整理できる。 ・指数法則を理解し、整式の乗法の計算ができる。 ・整式を適切な形に整理することによって、因数分解や計算ができる。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 	1 6
	期 末 考 査	第3節 1次不等式 第4節 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の意味から絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 ・共通部分、和集合、空集合、補集合について理解し、ド・モルガンの法則を利用できる。 ・必要、十分、必要十分条件の定義を理解する。 ・対偶による証明法や背理法のしくみを理解し、命題を証明することができる。 	1 8
二 学 期	中間 考 査	第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を求め、グラフをかくことができる。 ・2次関数の最大値、最小値を求められる。 ・放物線を平行移動や対称移動して得られる放物線の方程式を求めることができる。 ・与えられた条件を関数の式に表現できる。 ・連立3元1次方程式の解き方を理解する。 	2 1
	期 末 考 査	第3節 2次方程式と2次不等式 第3章 図形と計量 第1節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 ・2次不等式を解くことができる。 ・正弦、余弦、正接が求められる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 	2 2
三 学 期	学 年 末 考 査	第2節 三角形への応用 第4章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・鈍角に拡張して三角比の値を求められる。 ・正弦定理を用いて三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 ・3辺が与えられた三角形の面積を求められる。 ・平均値や中央値、最頻値、四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較することができる。 ・散布図、相関表を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 	2 8
	計			1 0 5

評価の 観点・方法	年間5回行う考查の得点・週末課題等の提出状況および授業態度等を総合的に判断して評価を行う。
--------------	---